



部長級に絞って開催した経営計画報告会

部長級に絞って開催した経営計画報告会。最新の水コン総合売上高ランキングは全国9位、うち

「CSE2030ビジョ

ン・中期経営計画」の概

中央設計技術研究所 (金沢市) はこのほど、今期のキックオフとなる第62期経営計画報告会を金沢勤労者プラザで開き、笠松英昭社長が今期の経営方針を発表した。同報告会は例年10月期のスタートに合わせて開

催しているもので、新型コロナウイルスの観点から部長級に絞って開催。全社員には、その模様をインターネットを通じてライブ配信した。

等松英昭社長は、まず前期を振り返り「新型コロナウイルス対策、サイバー攻撃に対処するなかで、受注高は目標を下回ったが、売上高は100%達成、営業利益は大きく目標を上回った」とした上で、最新の水コン総合売上高ラ

ン・中期経営計画」の概要を発表。経営戦略施策目標の▽受注拡大・エリア拡大▽官民連携・商品開発▽顧客満足・信頼品質などの「8本の矢」を強力に推し進め、2030年には受注高51億円、売上高49億円、営業利益2億9400万円、社員数310人の実現を目指す。笠松社長は「経営計画の達成に向けて、全役職員が一丸となり、前向きに取り組んでほしい」と呼びかけた。

2030年ビジョンを発表

第62期経営計画報告会開く

中央設計技術研究所

道設備管理システムの全国販売と合わせて、新たにリアルタイム水管理システムの開発に着手、技術統括本部は受注環境に

引き続き、各本部の経営方針の発表に移り、管理本部はクラウド型勤怠管理システムの導入や行動規範となるコンプライアンスの徹底、営業統括本部はクラウド型上下水道設備管理システムの全